

## 7 多項式と行列

演習 7.1 次の行列式 (多項式) を因数分解せよ.

$$\begin{vmatrix} x-1 & 1 & -1 \\ 1 & x-1 & -1 \\ 1 & 1 & x-3 \end{vmatrix}$$

演習 7.2 次の方程式を解け.

$$(i) \begin{vmatrix} x & 1 \\ 1 & x \end{vmatrix} = 0 \quad (ii) \begin{vmatrix} x+1 & -2 \\ 2 & x-3 \end{vmatrix} = 0$$

演習 7.3  $f(x) = x^2 - 2x + 1$ ,  $A = \begin{pmatrix} -1 & 2 \\ -2 & 3 \end{pmatrix}$  とするとき,  $f(A)$  を求めよ.

演習 7.4

$$\mathbf{a}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ x \\ x^2 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{a}_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ 3 \\ 9 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{a}_3 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 4 \end{pmatrix}$$

とするとき, 次の (1), (2) に答えよ.

- (1)  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3$  が線形従属となるような  $x$  の値をすべて求めよ.
- (2) 上で求めた値それぞれについて, その値を  $x$  に代入したときに

$$c_1 \mathbf{a}_1 + c_2 \mathbf{a}_2 + c_3 \mathbf{a}_3 = \mathbf{0}, \quad (c_1, c_2, c_3) \neq (0, 0, 0)$$

を満たすような定数  $c_1, c_2, c_3$  の組を 1 つ求めよ.

[ヒント] (1)  $A = (\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3)$  とすると,  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3$  が線形独立  $\Leftrightarrow \det A \neq 0$ .

一般に,  $n$  次の正方行列  $A$  を列ベクトルを用いて  $A = (\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_n)$  と書くとき,

$$\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_n \text{ が線形独立} \Leftrightarrow \text{rank } A = n \Leftrightarrow A \text{ は正則行列} \Leftrightarrow \det A \neq 0.$$

(2) 多分あてずっぽうで見つかると思いますが, 理論的に見つけたい時は, 教科書の定理 3.17 の証明を使って  $v({}^t A) = (0, \dots, 0)$  の非自明解を探しましょう.

今回は特別扱いの問題はありません.